

「山里への若者の移住」公開イベント実施計画

2015年11月10日

1 研修会の目的

伊40歳未満の若者が伊賀市の山里地域に移住しはじめている。なぜ伊賀市の中でも不便と言われる山里、人口が減少し少子高齢化が進む山里に若者が移住しはじめているのか？彼ら・彼女らの意識を探り、起きていることを深堀することで、伊賀の新たな希望が見えてくるのではないか。その希望と社会的・政策的な課題を浮き彫りにする。

2 実施日時（予定）・会場

2016年2月

会場 ゆめぼりすセンター大会議室

3 実施概要

① タイトル

「なぜ今、若者たちは山里に移り住むのか？」

② 内容

1 イントロダクション 10分…主催者による趣旨、プログラムの説明。地域づくり推進課による政策説明などがあると意義が深まる。

2 ミニレクチャーと質疑 20分…伊賀の山里で起きていること、その背景となる世界的潮流について。

3 各話題提供者によるお話し 50分…一人5分のお話しと質疑応答 5分×5人

4 休憩 15分

5 パネル討論と質疑応答 50分…5人+市幹部（副市長等）+コーディネーター。パネル討論 30分、質疑応答 20分。

6 まとめ 5分

③ 参加人数

参加制限なし MAX 80名

④ 登壇者（話題提供者候補）

1 小山高人・萌愛夫妻：二人とも大阪出身。萌愛さんは種生にある宙の学舎で1年10か月、山里暮らしを実践した後、高人さんと結婚。高人さんは、帰農私塾（栃木）、ラオスでの実践、美杉村のなないろの空での研修などを経て、萌愛さんと結婚。二人して種生で有機農業を基盤として生きていくことを決める。

2 奥田悠史・ひづる夫妻：悠治さんは伊賀出身、ひづるさんは山梨出身。悠治さんとひづるさんは、伊賀市の愛農高校出身。長野での実践を経て、種生・高尾への移住を決める。専門は、二人ともデザイン、編集。

3 東尾直輝：大阪出身のグラフィック・デザイナー。宙の学舎が制作した冊子『種生～希望の種が生まれるところ』を手伝ったのがご縁で、種生に移住。住める状態にするために、床を張りなおすなどの大工仕事を4か月した。

⑤ 対象者

特に高齢化、過疎化が進む地域の自治に携わる方々及び広く市民全般に呼びかける。

⑥ 実施主体

共催 伊賀市ゆめぼりすセンター・市民会議所 協力 宙の学舎

後援（依頼対象部署）伊賀市、伊賀市教育委員会、いが若者サポートステーション

4 問い合わせ先及び運営・事務取次

伊賀市ゆめぼりすセンター 担当 森本欣秀

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の4

TEL 22-1511 FAX 22-0317